

平成 29 年度 英語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	英語表現	3	第3学年	最重要文法語法必修ファイル Engage 準拠 Master Book 実力判定 英語ファイナルステップ

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・コミュニケーション英語Ⅲの授業は、「話すこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」という4技能の力をつける授業です。また、3年生では入試を見据えた授業を行います。
- ・英語の語彙や文法については、入試対策はもちろんのこと、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、ということ意識して学習することが大切です。常に「英語を使う」ということを意識して学習しましょう。
- ・音読は外国語学習の中でとても大切な練習の一つです。英語のリズムやイントネーションに気をつけ、聞いている人にきちんと伝わるような音読を心がけましょう。

2 学習の到達目標 (CAN-DO リストによる当該学年の4技能の到達目標)

第3学年】学習到達目標：CAN-DO リストの当該学年の学習到達目標を再掲のこと。

履修科目：「コミュニケーション英語Ⅲ」(4単位)、「英語理解」(4単位)、英語文法演習(3単位・2単位)、英語表現(3単位)、英語長文読解演習(2単位)、パワーアップイングリッシュ(2単位)、英語総合演習(1単位)

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・読んだ内容について、自分の意見を述べるができる。</li> <li>・自分のこれまでの経験、将来の夢や希望などについて、前もって準備し、メモを見ながら理由と具体例を添えて短く説明することができる。</li> <li>・身近なトピック(趣味や将来の夢や希望など)について幅広く意見や情報の交換をすることができる。</li> </ul>	コミュ Ⅲ・英語理 解 定期考査  英語長文 定期考査  パワーア ップ・英語 総合 定期考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の意見や考えを、まとまりのあるひとつの段落で書くことができる。</li> <li>・身近な話題に関して説明をし、自分の意見を、つなぎの語やフレーズを活用して、まとまりのある段落をひとつ書くことができる。</li> <li>・慣れ親しんだ語や表現を用いて、物事の手順を筋立てて書くことができる。</li> </ul>	コミュⅢ・ 英語理解 定期考査  英語文法・ 英語表現 定期考査  英語長文 定期考査  パワーアッ プ・英語総 合 定期考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国の文化・風習などについての説明文などを聞いて、概要を理解することができる。</li> <li>・日常的なあいさつができ、身の回りで起こったことや経験したことなどについてやり取りをすることができる。</li> <li>・ゆっくりはっきりと話されれば、外国の文化・風習などなじみのないことでもその概要を理解することができる。</li> </ul>	コミュⅢ・ 英語理解 定期考査  英語文法・ 英語表現 定期考査  パワーアッ プ 定期考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長文読解については、特に速読力の養成に力を入れる。</li> <li>・複雑な文章も時間をかけて、精読し、全体の要点や詳細を理解することができる。</li> <li>・300語程度の英文を、複雑なところは時間をかけて読み、全体の要旨を理解し、大事な点をもれなく理解することができる。</li> </ul>	コミュ Ⅲ・英語理 解 定期考査  英 語 文 法・英語表 現 定期考査  英語長文 定期考査  パワーア ップ 定期考査

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
最重要文法語 法必修ファイル	文・時制・助動詞・態・動名詞・不定詞・分詞・関係詞・比較・仮定法・時制の一致・話法・無生物主語・名詞構文・否定・省略・強調・倒置・動詞・名詞・冠詞・代名詞・形容詞・副詞・前置詞・接続詞・動詞のイディオム・その他のイディオム・多義語・多機能語	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・ペアで、メモに基づいて、自分の意見や考えについて伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・学習したそれぞれの構文を活用して、自分の考えや意見を述べる。	・それぞれの構文の基本例文をペアで練習して覚える。	・それぞれの構文の知識が定着し、それを活用して、自分の考えや意見を表現できる。	・授業時間を利用して単元別小テストを実施する。
		「外国語理解の能力」			
		(本単元では設定しない)	(本単元では設定しない)	(本単元では設定しない)	(本単元では設定しない)
「言語や文化についての知識・理解」					
・自分の考えや気持ちを伝える表現の使い方を理解する。	・教材で用いられている英語表現の意味や用法を確認する。	・自分の考えや気持ちを伝える表現の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。		
Engage 準拠 Master Book	時制・受動態・助動詞・仮定法・不定詞・動名詞・分詞・関係詞・比較・前置詞・接続詞・主語と動詞・疑問詞・否定・強調・倒置・省略・動詞・名詞・代名詞・形容詞・副詞・動詞を中心にしたイディオム・形容詞と副詞を中心にしたイディオム・名詞と代名詞を用いたイディオム・前置詞を用いたイディオム・会話・表現・ボキャブラリー	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。
		「外国語表現の能力」			
		・学習したそれぞれの構文を活用して、自分の考えや意見を述べる。	・学習したそれぞれの構文を活用して、自分の考えや意見を述べる。	・学習したそれぞれの構文を活用して、自分の考えや意見を述べる。	・学習したそれぞれの構文を活用して、自分の考えや意見を述べる。
		「外国語理解の能力」			
		(本単元では設定しない)	(本単元では設定しない)	(本単元では設定しない)	(本単元では設定しない)
「言語や文化についての知識・理解」					
・自分の考えや気持ちを伝える表現の使い方を理解する。	・自分の考えや気持ちを伝える表現の使い方を理解する。	・自分の考えや気持ちを伝える表現の使い方を理解する。	・自分の考えや気持ちを伝える表現の使い方を理解する。		
実力判定 英語フ ァイナルステップ	時制・態・助動詞・仮定法・不定詞・動名詞・分詞・動詞の語法・動詞を含むイディオム・形容詞の語法・副詞の語法・比較・形容詞と副詞を含むイディオム・名詞の語法・代名詞の語法・名詞を含むイディオム・関係詞・接続詞・前置詞と群前置詞・主語と動詞の一致・疑問文と語順・否定・省略・強調・共通語補充・会話・長文型会話	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。
		「外国語表現の能力」			
		・学習したそれぞれの構文を活用して、自分の考えや意見を述べる。	・学習したそれぞれの構文を活用して、自分の考えや意見を述べる。	・学習したそれぞれの構文を活用して、自分の考えや意見を述べる。	・学習したそれぞれの構文を活用して、自分の考えや意見を述べる。
		「外国語理解の能力」			
		(本単元では設定しない)	(本単元では設定しない)	(本単元では設定しない)	(本単元では設定しない)
「言語や文化についての知識・理解」					
・自分の考えや気持ちを伝える表現の使い方を理解する。	・自分の考えや気持ちを伝える表現の使い方を理解する。	・自分の考えや気持ちを伝える表現の使い方を理解する。	・自分の考えや気持ちを伝える表現の使い方を理解する。		